

令和7年度 自治体等FM連絡会議千葉県地域会 開催報告

千葉県地域会代表幹事 千葉市都市局建築部建築管理課
幹事 佐倉市役所資産経営部資産経営課

1 開催概要

日 時：令和8年1月9日（金）15時00分～17時10分

場 所：千葉市役所 2階 XL会議室201～203

主 催：自治体等FM連絡会議 千葉県地域会

参加者：千葉県内自治体等 47名

2 開催目的

本会議は、自治体におけるファシリティマネジメント（以下「FM」という。）の取組状況や先進事例を共有し、公共施設の更新問題や維持管理の高度化、公民連携の推進等について理解を深めるとともに、参加自治体相互の情報交換・ネットワーク強化を図ることを目的として開催した。

3 次第

開会

1. 挨拶

2. 講演

「射水市が取り組む公共施設マネジメント」

射水市財務管理部公共施設マネジメント推進課 課長 大森 昌祐 氏

3. 意見交換

4. 事務連絡

来年度の幹事について

5. 閉会

4 講演概要

講演では、射水市における公共施設マネジメントの取組について、公共施設等総合管理計画に基づく延床面積削減の課題、公民連携の必要性、包括管理業務委託の導入効果、随意契約保証型民間提案制度の活用、予防保全型施設管理への転換等について、具体的な事例や数値を交えた説明が行われた。

特に、包括管理業務委託による職員業務負担の軽減や修繕件数の増加、能登半島地震の経験を踏まえた迅速な施設点検体制、公民連携を通じた脱炭素化や施設利活用の取組などは、多くの参加者にとって参考となる内容であった。

5 質疑応答・意見交換の概要

講演後の質疑応答および意見交換では、

- ・ 包括管理業務委託導入時の庁内調整や事業者選定のポイント
- ・ 民間提案制度を活用する際のテーマ設定や事前対話の工夫
- ・ 公共施設の更新・縮減を進める上での住民理解の得方
- ・ 予防保全型管理に移行するためのデータ整備や予算確保

などについて活発な発言があり、参加自治体が抱える共通課題や今後の取組の方向性について、実務的な意見交換が行われた。

6 総括

本会議には47名の参加があり、講演および意見交換を通じて、公共施設マネジメントに関する先進的かつ実践的な知見を共有する有意義な機会となった。人口減少や施設老朽化が進行する中、限られた財源・人員で公共施設を持続的に管理していくためには、公民連携や包括管理、予防保全といった取組の重要性が改めて認識された。

今後も、本連絡会議を通じて自治体間の情報共有と連携を深め、各自治体の実情に応じたFM施策の推進に資する取組を継続していく。

以上、令和7年度自治体等FM連絡会議千葉県地域会は、予定どおり滞りなく終了したことを報告する。